

作曲家・中村洋子によるアナリーゼ講座

バッハ「平均律クラヴィーア曲集第1巻」と、 この「1巻を源泉とする名曲」 (全4回)

第3回

ベートーヴェン《月光》ソナタ第1楽章及び、ショパン前奏曲《雨だれ》

- 自筆譜から読み解く「月光」と「雨だれ」。この2曲には、バッハの前奏曲が脈々と息づいています。

■日 時： 2019年10月19日(土) 14:00～18:00

■会 場： エッサム本社ビル4階 こだまホール

住所：東京都千代田区神田須田町1-26-3 TEL:03-3254-8787
(JR神田駅 北口 徒歩3分) ※エッサム1、2号館ではありません

■受講料： 4,000円(税込)

■定 員： 70名

9月2日(月)よりお申し込み受付開始!

★ピアノソナタ Op.27-2《月光》第1楽章と、ショパン前奏曲 Op.28 第15番《雨だれ》を取り上げます。両曲とも、作曲家はあずかり知らないニックネームがつくほど、人口に膾炙した曲です。この二曲を丹念に学んでいきますと、その背後からバッハの前奏曲が姿を現します。

★この2曲の共通点は何でしょうか。《月光》第1楽章は cis-Moll(嬰ハ短調)、第2楽章は cis-Moll の同主長調 Cis-Dur の異名同音調の Des-Dur(変ニ長調)。第3楽章は、また元の cis-Moll に戻ります。《雨だれ》は3部形式ですが、第1部は Des-Dur です。中間部の第2部は cis-Moll。第3楽章は Des-Dur に復調します。



★《月光》と《雨だれ》の調性は、「合わせ鏡」のような関係です。そして、その構造と和声、対位法は、バッハの前奏曲から生まれ育ちました。

★この2曲の源泉は、次回「第4回」講座の「平均律第1巻」8番(前奏曲 es-Moll、フーガ dis-Moll)であることも、紛れもない事実です。

(講師：中村洋子より)

《お申し込み・お問い合わせは》

アカデミア・ミュージック株式会社

Tel. 03-3813-6757 (日曜定休) E-mail. analyzation_lecture@academia-music.com

(お申込みの際、お名前、住所、電話番号を明記してください。)

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

講師：作曲家 中村洋子

ベートーヴェン《月光》ソナタ第1楽章及び、ショパン前奏曲《雨だれ》

・ベートーヴェン《月光》ソナタ第1楽章

Ludwig van Beethoven ベートーヴェン(1770-1827)のソナタ Op.27-2「月光」の第1楽章は、cis-Moll(嬰ハ短調)です。1楽章全般にわたり、静かに絶え間なく、流れるように奏される上声3連符の分散和音に、バッハの「平均律第1巻」第1番 C-Dur 前奏曲の分散和音が、木霊し、呼応しています。この上声と、下声の和音を形成するバスが、どのように対位法と和声を形成しているのか、自筆譜から読み解きます。

・ショパン前奏曲《雨だれ》

Frederic Chopin ショパン(1810-1849)の前奏曲 Op.28-15 の1~27 及び 76~89 小節は、Des-Dur(変ニ長調)です。その Des-Dur 部分の美しい上声の旋律と、間断なく反復される「変イ音 as」の8分音符に、耳を奪われ勝ちですが、この曲の真骨頂はそれを支えるバスと内声の縦横無尽な対位法です。それを見抜いたのが、ショパンの自筆譜を研究し、校訂版を出版した大作曲家 Claude Debussy ドビュッシー(1862-1918)です。ドビュッシーの音楽は、ショパンが存在したからこそ成り立ったとも言えます。そのショパンに沁み込んでいるバッハは、当然のことながらドビュッシーにも脈々と息づいています。

【プロフィール】

東京芸術大学作曲科卒。

・2008~15年、「インヴェンション・アナリーゼ講座」全15回、「平均律クラヴィーア曲集 1、2巻アナリーゼ講座」全48回を、東京で開催。

自作品「Suite Nr.1~6 für Violoncello 無伴奏チェロ組曲第1~6番」、「10 Duette für 2 Violoncelli チェロ二重奏のための10の曲集」の楽譜を、ベルリン、リース&エアラー社(Ries & Erler Berlin)より出版。

「Regenbogen-Cellotrios 虹のチェロ三重奏曲集」、「Zehn Phantasien für Celloquartett (Band I, Nr.1-5) チェロ四重奏のための10のファンタジー(第1巻、1~5番)」をドイツ・ドルトムントのハウケハック社 Musikverlag Hauke Hack Dortmund から出版。

・2014年、自作品「Suite Nr. 1~6 für Violoncello 無伴奏チェロ組曲第1~6番」のSACDを、Wolfgang Boettcher ヴォルフガング・ベッチャー演奏で発表。(disk UNION : GDRL 1001/1002)レコード芸術特選盤。

・2016年、ブログ「音楽の大福帳」を書籍化した《クラシックの真実は大作曲家の「自筆譜」にあり！》~バッハ、ショパンの自筆譜をアナリーゼすれば、曲の構造、演奏法までも分かる~(DU BOOKS社)を出版。

・2016年、ベーレンライター出版社(Bärenreiter-Verlag)が刊行したバッハ「ゴルトベルク変奏曲」Urtext 原典版の「序文」の日本語訳と「訳者による注釈」を担当。

・2016年、ギターソロと二重奏の作品集「夏日星」を収録した《CD 夏日星》を発表。

・2017年、ベーレンライター出版社(Bärenreiter-Verlag)が刊行したバッハ「平均律クラヴィーア曲集第1巻」Urtext 原典版の《「前書き」日本語訳》《「前書き」に対する訳者(中村洋子)注釈》《バッハ自身が書いた「序文」の日本語訳》《バッハ「序文」について訳者(中村洋子)による、詳細な解釈と解説》を担当。

・2017年、「チェロ四重奏のための10のファンタジー(第2巻、6~10番)」を、ドイツ・ドルトムントのハウケハック社 Musikverlag Hauke Hack Dortmund から出版。

・2016~18年、「ゴルトベルク変奏曲・アナリーゼ講座」全10回、「平均律クラヴィーア曲集第1巻第1番~6番・アナリーゼ講座」全6回を、東京で開催。



アナリーゼ講座今後の予定

●第4回：2020年1月18日(土) 14:00-18:00

平均律第1巻8番プレリュード es-Moll、フーガ dis-Moll

アカデミア・ミュージック HP 内にアナリーゼ講座特設ページができました！

https://www.academia-music.com/user_data/analyzation_lecture